

進路だより 12月号

福島県立猪苗代高等学校

2014 (H26) ・ 12 ・ 1

～期末テスト、迫る～

時間の経つのは早いもので、もうすぐ2学期の期末テストが始まります。準備は万全でしょうか。1・2年生は進路、3年生は卒業に、テストは直結します。後で何かやり残したと後悔しないように、しっかり準備して取り組みましょう。冬休みには強化学習会等もありますので、自分の進路を見据えて行動するようにしましょう。特に3年生は、4月からの新生活にスムーズに移行できるように、冬休みを有効活用しましょう。



さて、ここで今年の3年生の受験報告書の中から、印象的なフレーズをまとめてみましょう。

「なぜ（企業名・学校名）なのかを考えておこう」・・・企業や学校を選んだ理由を明確にしておかないと、入社・入学後にミスマッチを起こしたり、試験で答えられなかったりします。

「〇〇をもっとやっておけばよかった」・・・試験後によく見られる感想です。しかしこれは、事前準備である程度対応することができます。「段取り八分」「仕事の9割は「段取り」で決まる」（伊藤昭）などあるように、本番を成功させるためにはしっかりとした準備が大切です。

「新聞を読んでおくべき」・・・時事は社会常識として知っておかなければなりません。高校を卒業すれば「知っていて当たり前」の世界になります。

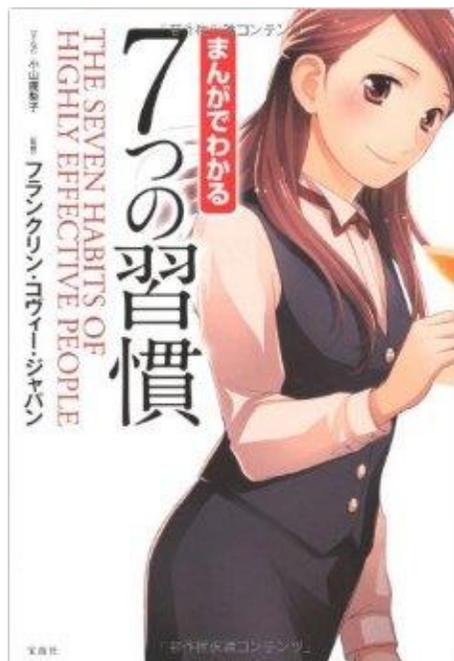
【就職・進学をする前に読んでおきたい本】

『7つの習慣』

世界中で大ベストセラーになった、自己啓発書。最近では漫画版も出版され、ますます読みやすくなりました。この本には「成功するためにはどうしたらいいのか」ということが書かれています。どのようなことが習慣になれば、人は成功できるのでしょうか？それでは、簡単に「7つの習慣」を見てみましょう。

①自分の判断で行動する

人は何をするにも一度立ち止まって、自分の判断で選んだ行動をしています。ということは、場面に応じて考えた行動をとる必要があるということです。考えなしに行動したり、他人や周りのせいにして行動したりせず、「自分自身で考えて、一番いい方法を自分で選ぶ」ようにしましょう。



②目的を持って始める

将来どんな風になりたいか、どんな人間でいたいかなど、大事な人生のゴールを決めないと、何をしたいのかも分からずに、間違った方向に進むというのはよくあることです。目標や夢、願いを持つことはとても大切です。

③優先順位をつける

人間にとって大切なことは、意外とつらく面倒なことです。しかし、だからといって、そのようなことを「いつか、あとで」と後回しにして、楽しくて楽なことばかりをやっている、「自分で決めた目標や夢、願い」に行き着くことは難しくなります。後戻りはできないので、大切なことから先にやってみましょう。

④WIN-WINを考える

WIN-WINとは、「お互いに幸せになることを考える」ということです。生活している中では、人は人に助けられて生きていて、必ず自分以外の人と関わっています。だから、周りの人とはいつも「自分もあなたも幸せ」でいられるように行動してみましょう。

⑤まず相手を理解してから理解される

自分も相手も幸せになるためには、まず相手から理解しましょう。自分の考えばかり主張しても、相手は自分の心の中がのぞけるわけではないので、「私を理解してくれない」と自己中心的な考えに陥ってしまいます。ここでは順序が大切です。まず、相手の話を聞いてみましょう。そうすることで、相手が理解できて、適切な行動がとれるようになってきます。

⑥相乗効果を発揮する

ここがいまままでの集大成です。一人ひとりがお互いの良さを認め合えば、みんなで出せる力は、一人ひとりの力を足したものよりも大きくなります。人はみな、それぞれ違ういいところを持っています。この、この「自分と違う、人の良いところ」を認め合う姿勢こそが、相乗効果を発揮する源となります。

⑦自分を磨く

包丁の刃はたまに手入れをしないと切れ味が悪くなります。人間も同じです。いつも「自分自身の切れ味」をよく保っていくために、自分を磨き、いつも元気で新しい自分であることが、良い習慣のスパイラルを生みます。

磨く側面には4つあります。(1) 頭(勉強、復習、読書など)、(2) 体(運動、早寝早起きなど)、(3) 心(人に優しくする、相手の立場になって考えるなど)、(4) 人間関係(自分の大切な人を大切にするなど)です。

以上、どうだったでしょうか。これから新しい生活が待っている人も、高校生活を頑張っていく人も何か感じられるものがあったのではないのでしょうか。気になる人は図書館にもあるので、ぜひ読んでみてください。

☆自己分析をしよう☆

3年生が続々と進路を決めている一方で、次の主役は1・2年生です。進学でも就職でも、自分のことが分かっていなければ、決められるものも決められません。そこで、「自己分析」をしてみましょう。「自己分析」とは、簡単に言えば「自分の価値観を知ること」です。どのようなところを重要視してものごとを考えているのか、一度はっきりとさせてみましょう。

【パーソナルデータ】

①高校時代に打ち込んだこと

--

②高校時代に経験したうれしかったこと

--

③友人間でのあなたの役割

--

④特技について

--

⑤最も感動したこと（またはつらかったこと）

--

⑥長所・短所

--

⑦あなたが影響を受けた人・言葉

--

【私のパーソナリティ】 (○・△・×をつけてみよう)

明朗性		行動力		研究心	
誠実性		判断力		向上心	
責任感		指導力		独立心	
積極性		企画力		好奇心	
協調性		表現力		活発さ	
慎重性		洞察力		素直さ	
規律性		創造力		親切さ	
自主性		忍耐力		気配り	

【興味・関心のある仕事】 興味・関心がない ←-----→ 興味・関心がある

	0	1	2	3	4	5
①企画・サービスを提案する仕事						
②高収入が得られる仕事						
③資格・専門能力が身につく仕事						
④最先端の技術に触れる仕事						
⑤営業センスを発揮する仕事						
⑥チームワークを活かした仕事						
⑦人を育てる仕事						
⑧早くからマネジメントができる仕事						
⑨社会貢献度の高い仕事						
⑩地域社会に密着した仕事						
⑪世界を舞台に活躍する仕事						
⑫独立・起業が目指せる仕事						
⑬自分のアイデアを活かせる仕事						